

令和8年8月吉日

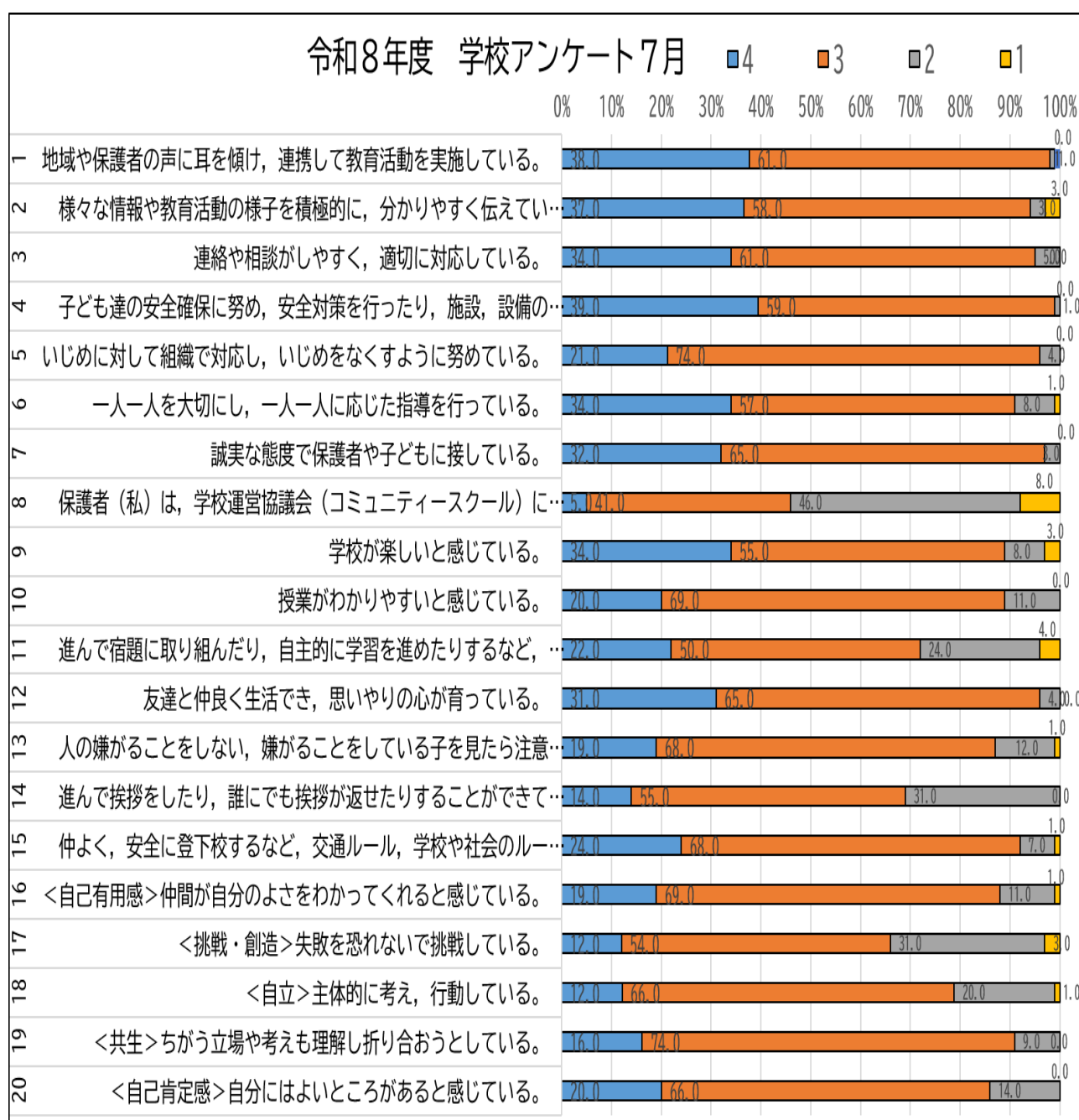
保護者様

多治見市立池田小学校
校長 松原 敦也

学校アンケート(保護者7月)の結果集計のまとめ

秋風の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、見出しのとおり、7月にご協力いただきました学校アンケートの結果をとりまとめましたのでご報告いたします。



4 : よくあてはまる 3 : あてはまる 2 : あまりあてはまらない 1 : あてはまらない
<回答率 R7.7 : 37.2% R8.7 : 38.2%>

		(%)	4	3	2	1	4+3	2+1	R7.1月との差
学 校 に つ い て	1	地域や保護者の声に耳を傾け、連携して教育活動を実施している。	38.0	61.0	1.0	0.0	99.0	1.0	◎
	2	様々な情報や教育活動の様子を積極的に、分かりやすく伝えている。	37.0	58.0	3.0	3.0	95.0	6.0	◎
	3	連絡や相談がしやすく、適切に対応している。	34.0	61.0	5.0	0.0	95.0	5.0	○
	4	子ども達の安全確保に努め、安全対策を行ったり、施設、設備の環境整備、環境美化に努めたりしている。	39.0	59.0	1.0	0.0	98.0	1.0	○
	5	いじめに対して組織で対応し、いじめをなくすように努めている。	21.0	74.0	4.0	0.0	95.0	4.0	◎
	6	一人一人を大切にし、一人一人に応じた指導を行っている。	34.0	57.0	8.0	1.0	91.0	9.0	・
	7	誠実な態度で保護者や子どもに接している。	32.0	65.0	3.0	0.0	97.0	3.0	◎
	8	保護者（私）は、学校運営協議会（コミュニティースクール）について知っている。	5.0	41.0	46.0	8.0	46.0	54.0	◎
お 子 さ ん に つ い て	9	学校が楽しいと感じている。	34.0	55.0	8.0	3.0	89.0	11.0	△
	10	授業がわかりやすいと感じている。	20.0	69.0	11.0	0.0	89.0	11.0	○
	11	進んで宿題に取り組んだり、自主的に学習を進めたりするなど、家庭学習の習慣が身に付いている。	22.0	50.0	24.0	4.0	72.0	28.0	△
	12	友達と仲良く生活でき、思いやりの心が育っている。	31.0	65.0	4.0	0.0	96.0	4.0	○
	13	人の嫌がることをしない、嫌がることをしている子を見たら注意するなど、いじめを許さない心が育っている。	19.0	68.0	12.0	1.0	87.0	13.0	▲
	14	進んで挨拶をしたり、誰にでも挨拶が返せたりすることができている。	14.0	55.0	31.0	0.0	69.0	31.0	○
	15	仲よく、安全に登下校するなど、交通ルール、学校や社会のルール、マナーを守って生活している。	24.0	68.0	7.0	1.0	92.0	8.0	△
	16	<自己有用感>仲間が自分のよさをわかってくれると感じている。	19.0	69.0	11.0	1.0	88.0	12.0	○
	17	<挑戦・創造>失敗を恐れないで挑戦している。	12.0	54.0	31.0	3.0	66.0	34.0	○
	18	<自立>主体的に考え、行動している。	12.0	66.0	20.0	1.0	78.0	21.0	○
	19	<共生>ちがう立場や考えも理解し折り合おうとしている。	16.0	74.0	9.0	0.0	90.0	9.0	◎
	20	<自己肯定感>自分にはよいところがあると感じている。	20.0	66.0	14.0	0.0	86.0	14.0	△

◎：5%より増 ○：1から5%まで増 △：1から5%まで減 ▲：5%より減

学校アンケート7月の結果集計から

◇学校の取組が高く評価されている項目（4と3の評価を合わせて90%を超える項目）は下記の12項目（評価の高い順）でした。

- 項目 1「地域や保護者の声に耳を傾け、連携して教育活動を実施している。」
- 項目 2「様々な情報や教育活動の様子を積極的に、分かりやすく伝えている。」
- 項目 3「連絡や相談がしやすく、適切に対応している。」
- 項目 4「子供達の安全確保に努め、安全対策を行ったり、施設、設備の環境整備、環境美化に努めたりしている。」
- 項目 5「いじめに対して組織で対応し、いじめをなくすように努めている。」
- 項目 6「一人一人を大切にし、一人一人に応じた指導を行っている。」
- 項目 7「誠実な態度で保護者や子どもに接している。」
- 項目 12「友達と仲良く生活でき、思いやりの心が育っている。」
- 項目 15「仲よく、安全に登下校するなど、交通ルール、学校や社会のルール、マナーを守って生活している。」
- 項目 19「〈共生〉ちがう立場や考えも理解し折り合おうとしている。」

・ **目指す学校像の3つのうち特に「子供たち一人一人が安心して学習や生活をし、笑顔があふれる学校」「子供たち一人一人が大切にされ、保護者や地域から信頼される学校」につながる項目が評価されました。**

・ 90%を超える項目が20項目中10項目もあり、特に、項目12「友達と仲良く生活でき、思いやりの心が育っている。」項目19「〈共生〉ちがう立場や考えも理解し折り合おうとしている。」の評価が高かったことは、教職員にとって大変励みになりました。

◇R7.12月と比べ、特に評価が高くなった項目は下記の6つでした。

- 項目 1「地域や保護者の声に耳を傾け、連携して教育活動を実施している。」
- 項目 2「様々な情報や教育活動の様子を積極的に、分かりやすく伝えている。」
- 項目 5「いじめに対して組織で対応し、いじめをなくすように努めている。」
- 項目 7「誠実な態度で保護者や子どもに接している。」
- 項目 8「保護者（私）が、学校運営協議会（コミュニティースクール）について知っている。」
- 項目 19「〈共生〉ちがう立場や考えも理解し折り合おうとしている。」

・ 項目8.19が評価されたのは、家庭・地域・学校との連携による取り組みの成果だと感じます。

◆評価が特に低くなった項目は、下記の2つでした。

- 項目 11「進んで宿題に取り組んだり、自主的に学習を進めたりするなど、家庭学習の習慣が身に付いている。」
 - 項目 13「人の嫌がることをしない、嫌がることをしている子を見たら注意するなど、いじめを許さない心が育っている。」
- ・ 「家庭で学習をする習慣」と「人とかわる力」は、どちらも小学校6年間のうちに身に付けさせたい力です。保護者の方との連携を図りながら、進めさせていただくようお願いします。

<学校、教職員>

○いつもありがとうございます。先生方、職員の皆様お体を大事になさってください。

- ・これからも、子供たち一人一人が安心して学習や生活をし、笑顔があふれる学校にするために、子供一人一人に寄り添い、個性を大切にしながら、認め、励まし、自己肯定感を高める指導に努めていきます。また、今後も、ほめて育てることを大切にしていきます。
- ・今まで以上に、地域、保護者、子供たちにとって連絡・相談しやすいような、関係づくりに努め、誠実な態度で保護者や子どもに接し、対応していきます。
- ・相談事がある際には、担任や学校職員だけでなく、様々な関係機関にも相談することができます。関係機関の連絡先等はHPに掲載したり、プリントで配布したりしています。ご活用ください。

<行事、活動>

- ・今年度のスポーツフェスティバルでは、全校競技が追加されたことで、観に行く楽しみが増えました。
- ・子どもの負担を考えるとタブレットの持ち帰りをやめていただきたいです。
- ・多治見市の各学校のホームページの池田小学校ページについてですが、他の学校と比べて行事のアップが少ないと感じました。池田小は入学式と運動会の2回のみ。他学校は毎月3回や4回や10回の場合もありました。学校の取組みや様子がわかりやすく池田小も真似して増やして頂けたらありがたいです。こちらのホームページから他の小学校の運動会の写真を見ましたら、高学年はソーラン節、ダンス、フラッグなどを行ったそうです。毎年アンケートでも、ソーラン節を復活して欲しいという意見があり、ソーラン節とはどんなのかなと想像もついて無かったのですが、今回写真を見てやっと分かりました。確かにソーラン節は復活して欲しいと思いました。同じ市内の小学校で運動会でこんなにも種目が違うのは、どうかなと感じました。同じ体験経験ができるように、運動会の種目を是非検討して頂けたらと思いました。
- ・先日実施された水難防止の講演会は、とても有意義な内容でした。昨年は親子で参加し、実際にプールで「ういてまつ」体験もしましたが、一度だけではなかなか身につかないと感じました。水難事故から命を守るためには、繰り返し体験することが大切だと思います。毎年継続して学ぶことで、いざという時に落ち着いて行動できる力につながるのではないのでしょうか。ぜひ、こうした水難防止の学習や浮いて待つ訓練を、学校の授業にも取り入れていただけるとありがたいです。もう一つ包括的性教育を充実させて欲しいです。

- ・行事については、子供たちの多様性や体力、令和の時代にあった学校行事の在り方、新学習指導要領の内容を考慮し、ねらい、内容、方法を変更したり、精選したりしています。行事を通して、子供たちの主体性、自主性を育てていくことが最大のねらいであることに変わりはありません。今後も地域や保護者、子供たちの声に耳を傾けながら、行事等の精選、変更を行っていきます。よろしくお願いします。
- ・学校教育活動の紹介の仕方も検討していきます。
- ・タブレットの持ち帰りについては、「緊急用連絡手段」という意図もあります。そのかわり、通常持ち帰りの必要のない教科書は学校に置いていきます。ご理解いただきますようお願いいたします。

<その他>

- ・子供たちに挨拶をしても挨拶してくれないのが残念。全校下校の時すぐバラバラになって帰ってきている。
- ・給食について、おかわりが早く食べ終わった人からと言うのが、喉に詰まらせないかなと少し気になりました。
- ・少々自己肯定が落ちたと感じます 自信がなくなるような声がけだけは避けてほしいです。

- ・子どもたちの安心・安全・健康面の支援・指導のありかたも引き続き検討していきます。
- ・地域の方からは、「あいさつの声が増えた。」「明るい声で返してくれる子が増えた。」「自分からできる子が増えた。」という声が届いています。
- ・学級活動や帰りの会を活用して、「よさみつけ」やエンカウンターなどを行い、よりよい人とのかかわり方や自己肯定感、自己有用感の育成について、今後も継続的に取り組んでいきます。

※同様のご意見を多数いただきました。また、上記以外のご意見もいただきました。それらのご意見に対しても引き続き検討を重ね、善処できるように努めていきます。